

## 丹後の“ローカル”を発信する拠点に。



上／神奈川県からIターンした大場亮太さん・佐代子さん夫妻  
下左／店舗では、無農薬で育てられたニンジンやケール、イタリア野菜も取り扱う 下右／店の裏にはテラスが設置されており、子ども連れの家族も自然の中でゆったりとくつろげる

タンゴ・オーガニック・  
ファーマーズマーケット代表

大場 佐代子 さん (弥栄町)

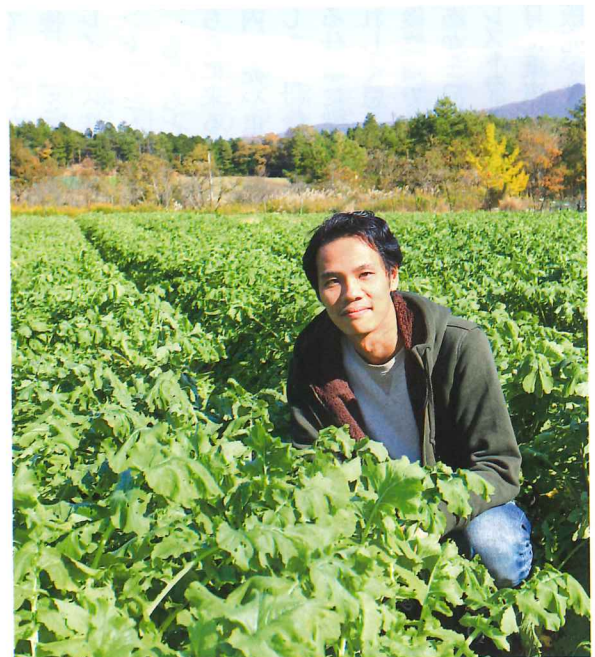
**I** ターン  
3年前に神奈川県から夫婦で移住し弥栄町で就農。少量、多品種の野菜を生産するS O R A農園を設立し、有機農業に取り組んでいます。  
農業を志したきっかけは、東日本大震災。東京で音楽制作やアーティストのマネージメント業をしていましたが、大勢の方の被害を目の当たりにし、もっと直接人の役に立てるような仕事もしていきたいと思うようになりました。  
現在は、夫が主に農業に従事し、私は東京の仕事も続けながら、同じように有機農業に取り

組む生産者の仲間とタンゴ・オーガニック・ファーマーズマーケットを設立し、今年5月にオープンした「キコリ谷テラス」(弥栄町船木)を運営しています。  
お店では、メンバーの生産する有機野菜やパン、加工品など厳選した丹後半島のこだわりのものを販売しています。  
ずっと都市部に住んでいた私にとっては、山にある木々や海の流木なども宝物に見えます。この場所をそんな丹後のローカルな魅力を発信する拠点にしていきたいです。

## 農家と消費者をつなぐ架け橋に。

株式会社田園紳士 代表取締役

森下 裕之 さん (35歳・網野町)



連携する農家の圃場で野菜を見る森下さん。世界にアンテナを張り、消費者のニーズと生産者の思いをマッチングしていく。

**和** 歌山県の出身で、大学院卒業後の平成25年、田舎で働き隊(現在の地域おこし協力隊)として京丹後市へ移住。約3年間、「久美浜まるごとプロデュース協議会」の事務局を務め、久美浜町の農業活性化に取り組みました。  
その経験を生かして昨年6月、農産物の卸売や商品の企画・提案などを行う「株式会社田園紳士」を設立し、現在は市内約40戸の農家と連携して野菜や果物を全国の消費者へ届けています。  
京丹後の魅力は何と云っても

もこの豊かな自然。数多くある清流や海風に運ばれるミネラル、冬に積もる雪。そうした気候を生かし、こだわりの農業を行う農家の方に生産に専念してもらえよう、私が全国の販売先との架け橋となりサポートしていければと考えています。  
また、昨年からは、市の進める「美食観光のまちづくりワークショップ」にも参加しています。魅力ある農産物を世界へ発信することはもちろん、地元でも消費される仕組みを作り、観光誘客につなげていきたいと思っています。